

---

# 魂（こころ）震わせて

朝日野圭吾

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ソジュク  
魂震わせて

### 【コード】

N8815E

### 【作者名】

朝日野圭吾

### 【あらすじ】

「お前の魂、頂きに来た」平凡な高校生水島カイトの元に突然「黒天使」と名乗る少女が現れた。そしてカイトに契約するよう指示するが・・・？駄文ですがぜひお読みくださいませ

## プロローグ（前書き）

運命はいつも突然塗り替えられる・・・。

## プロローグ

人が死んだらどこに行くのだろうか？

幼い頃、真剣に考えていた時期があった。

死んだらどうなっちゃうのかな？

僕はどこに行くのかな？

お母さんと離れなければならぬのかな？

どこにも行かず、その場で全て消えちゃうのかな？

まだあまり発達していない脳みそで必死に考えていた。必死に必死に考えていた。

しかし、当然というのだろうか……。答えに行きつくはずも無く、苦しんだ。

(まあ、今となっても理解できないのだが……。)  
そして幼いくせに、一丁前に「死」を恐れた。毎日毎日「死にませんように」と願いながら眠りに落ちていった。

そんなある日、俺はついに母親に死んだらどこへ行くのか聞いてみることにした。

台所で夕飯の仕度をしている母の元へ行き、こう訪ねた。

「ねえお母さん、人が死んだらどこへ行くの？」

まだ感情が未発達な年齢なのにそんなことを聞かれ、さぞかし母は驚いたであろう。

しかし母は夕飯の仕度を止め、俺の問いに答えてくれた。

「いいカイト？人はね、死ぬとまず「天界」というところへ行くの。そこでは大天使様がね、死者の魂を判決するのよ。生前、正しい行

いをした人はそこから「天国」へ、悪しき行いをした人は「地獄」へ呼ばれるところへいくの。わかったかしら？」

そう説明されて、俺は少し安心した。死んだら魂も、心も、記憶も全て消えるわけではないと知ったからだ。安心したところでまた一つ疑問が浮かんだ。すかさず質問する。

「その大天使様って誰？どんなことをしているの？神様とは違うの？」

母はその質問が来るのを予想していたようだ。先ほどのように驚いた顔はしなかった。ただ優しく微笑みながら説明した。

「神様とは違うわ。神様はこの世をまとめる最もえらい方だもの。・。神様はこの世を造った人なのよ。その神様に仕える人を「天使」と呼ぶの。彼らは人の運命を変えるほどの力を持っているとされているわ。・。大天使様はその天使たちをまとめる役割をしているのよ」

「・。今考えるとばかばかしくなる。人は死ぬと天界へ行き、裁判にかけられる? ・。全くあほらしいな。・。」

誰か死んだ人がその光景を見てまたそれを伝えるに蘇ったとでも言うのか? 証拠も無いのに良くそんなことが言えるよな。

それに大天使様とか神様なんて存在するわけ無いだろ! ? この世界に存在するのは自然と生物と時間だけだ。

もし存在したら母は死ななくても良かったんだ・・・。

もし存在してくれたら・・・あんなことは起こらなかったんだ・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8815e/>

---

魂（こころ）震わせて

2010年12月14日18時08分発行